



# 訥言敏行



写真: 旧美敷水源地下水道施設...鳥取市民の飲料水の確保と公衆衛生の向上を主な目的として大正4年より昭和53年まで供用された上水道施設です。山陰初の近代水道施設の代表的遺構であり、貯水池のみならず量水施設や濾過施設なども良好な状態で保存されています。近代水道施設の構成を知る上で高い歴史的価値が認められ、今年国の重要文化財に指定されました。

2007年度  
(社)鳥取青年会議所  
広報誌 10月号

# 因幡

INNOVA [ina:va]  
変革

鳥取青年会議所 検索  
URL <http://torijc.main.jp>  
E-mail [torijc@hal.ne.jp](mailto:torijc@hal.ne.jp)

鳥取市が十月から家庭ごみの処理を有料化しました。市がいままで税込でまかなっていた可燃ごみの処分費の一部を市民に負担してもらう制度であり、テレビ・新聞の報道ではさほどの混乱もなく制度移行できたようですが、これはハード面であつてソフトである我々市民の意識は制度に柔軟に対応できているのか少々疑問を感じています。

とある会社の山陰における「環境」に対する消費者の意識と行動調査では9割以上の人が「環境問題」に対して「関心がある」と回答しています。また、「環境」保全のために6割以上の人が負担・不便を受け入れてもよいと回答していました。しかしこの2つのデータ差である3割の人は言い換えると環境問題は関心があるが負担・不便はいやであると言っているのではないのでしょうか。山陰気質でもある奥ゆかしさからか声を大きく反対と唱える人はいないが、心のうちには反対と思っていることがうかがえます。また、企業に対してその商品の環境に対する配慮を5割以上の方が望んでおり、環境に対する負担は消費者ではなく、製造者であるメーカーに負担して欲しい気持ちがあることもわかりました。以上のことからアンケートの結果に見えてくる市民の意識は「環境」には関心はあるがその改善・より良い「環境」への費用また負担は自分でないところで行って欲しい。それでも決められたことは仕方ないので従う。そんな主体性のないことではないのでしょうか。

本年度は基本方針の中に(活動を通して環境へのやさしさを視野にいれる)があります。個別委員会として職務やテーマではありませんが、「環境」への配慮や活動はできることから個人レベルでまずは実行する。誰にでもできる小さな一歩が、大きな飛躍また成果に繋がります。会員の皆さんは能動者として行動を、そして市民の皆さんは自分のこととしてその一歩は踏み出していきます。

十月 理事長挨拶  
理事長 安陪 幸伸

2007年度 日本JCスローガン 「日本の力」発信! 理想国家日本の創造に向けて!

2007年度 鳥取JCスローガン

# 目標を見定め我「実行」せん!

## まちづくりの仲間紹介

毎月、鳥取県東部で活躍されているまちづくり団体をご紹介します

### < 特定非営利活動法人 ひつじの会 >

障害者の方に対して多様な福祉サービスをその利用者の意向を尊重しながら、総合的に創意工夫して提供する事業を行うことにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、その能力及び適正に応じ自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することで地域福祉の向上に寄与する事を目的としています。

【お問合せ先】  
鳥取市田園町4丁目338 TEL&FAX 0857-24-7551

## 事業の御礼

### きんさい因幡 鳥取自動車道に乗って in 加西

地域間交流委員会 委員長 森田浩二

去る9月16日・17日、地域間交流委員会の事業「きんさい因幡 鳥取自動車道に乗って in 加西」を中国自動車道上り加西サービスエリア内にて行いました。3連休の中日・最終日ということもあり非常に多くの地域外のサービスエリア利用者に鳥取自動車道の開通並びに因幡の魅力を発信できました。そして、この事業の中でシールアンケートという手法で鳥取自動車道の認知度の調査を行いましたが約7割の方が開通を知らないという結果ができました。

2009年の開通に向け、地域外へのPRの必要性を改めて感じる事の出来た事業であったと思います。最後になりましたが、鳥取県・鳥取市・若者会議の皆様のご参加をいただきましてありがとうございました。また2日間にわたりブース出店いただきましたJA鳥取いなば様、(株)中村商店様、このたびの事業にご協力いただきましたこと心より感謝いたします。

## まちづくりイベント情報

### とっとり発地域ブランドフェア2007 (地域資源の活用で産業の活性化)

「地域の誇り 資源は有限 創造は無限」をテーマに開催します。入場無料です。

開催日時:11月2日(金)~4日(日)  
10時~17時(最終日は16時まで)

会場:県民体育館(鳥取市布勢)  
内容:地域資源を活用した技術・製品・特産物や、大学・高専などにおける研究成果の展示、紹介。

【お問い合わせ先】  
(財)鳥取県産業振興機構 TEL 0857-52-6726

### 第2回ゆるキャラカップin鳥取砂丘 ~オレ達はゆるくない~

開催日時:11月11日(日) 9時30分~15時30分  
場所:鳥取砂丘 オアシス広場 (雨天中止)  
内容:ゆるキャラカップとは・・・

ゆるキャラ王国鳥取県を舞台に“トリピー”などで知られる「ゆるキャラ」たちが県内外から集まる大運動会。秋も深まる11月、ゆるキャラ達が再び鳥取砂丘に集結。その持ち前のゆるさは裏腹に、体当たりの真剣勝負を行います!今回は、前回より規模を拡大して、堂々開催!会場では、各参加団体のPRのほか、特産品やキャラクターグッズの販売なども行います。

【お問い合わせ先】 鳥取県観光連盟  
(東部ワーキンググループ事務局)TEL 0857-39-2111

## ◆今月の表題◆

### 訥言敏行・・・とつげんびんこう

「君子は言に訥なれども、行いに敏ならんことを欲す」を簡潔に言った熟語。教養ある人は口先だけの言葉より、実践が大事。不言実行。

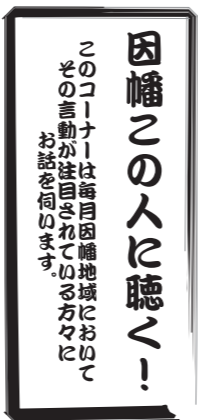
参照・・・「四字熟語」これだけ辞典

### ■ 骨髄バンクドナー登録の推進について ■

本年度福祉委員会では、骨髄バンクへのドナー登録を、まずは青年会議所メンバーに広めていきたく思い、ドナー登録説明員の資格を取得するよう取り組んでいます。ドナー登録を福祉委員会メンバーが行った後、ドナー登録説明員の講習を受け11月18日の実技にて資格の取得を目指しています。このドナー登録説明員は、今後福祉委員会メンバーという枠だけでなく活動することが出来る資格で、今後息の長い活動になればと考えます。鳥取青年会議所では献血推進活動に長年携わっており、併せて骨髄バンクドナー登録も促し、メンバーとしての活動により有効な取り組みが出来ればと思います。

#### 【ドナー登録出来る方】

- ・骨髄提供の内容を十分に理解している方
- ・年齢が18歳以上54歳以下で健康な方
- ・体重が男性45キロ以上女性40キロ以上の方
- ※ドナー登録後の健康状態によっては、コーデイナートを進めることができないこともあります。
- ※骨髄提供にあたっては家族の同意が必要です。



財団法人 骨髄移植推進財団

地区普及広報委員

鳥取県骨髄バンクを支援する会 事務局長

加登脇 富彦 氏

**加登脇** 今日はよろしくお願い致します。実は私はドナー登録をさせて頂いていますが、詳しく現状などを教えていただけますか。まずこの普及広報委員はどれ位いらつしやるのですか。

**加登脇** 現在鳥取県内では財団から認定されているのは私1名です。

**安陪** 少ないですね。協力してくれている方は他にもおられますよね。

**加登脇** はい。ボランティアですので、協力のお声掛けはしています。12年前に私もボランティアでお手伝いをしていて、それを機会に支援する会を立ち上げました。

**安陪** ボランティアで会まで立ち上げるのはなかなか出来ないことですよ。

**加登脇** そうですね。苦労はありますが、興味を持って始めたことですので。少し世の中の役に立てれば、誰か助かればと思つてなんです。財団から色々聞いて、最初は一人でやっていたのですが、知人が亡くなつてもつとがんばらうと活動をしています。

**安陪** 支援する会は何名でされていますか。

### 【骨髄移植について】

骨髄とは・・・  
骨髄は、胸や腰の骨の中にあるゼリー状の組織で、血液を作っています。そこには骨髄液と呼ばれる赤血球、白血球、血小板といった血液成分のもとになる骨髄細胞が含まれています。これら骨髄の造血機能に何らかの異常をきたすと、生命に関する様々な病気が起こります。

## 骨髄バンクについて考える

移植のポイント・・・

HLA型／赤血球にABO型があるように、白血球にもHLA型という型があります。骨髄移植では、患者とドナーのHLA型の一致が必要で、HLA型の一致しない骨髄移植は拒絶反応などの副作用により、成功が得られません。HLA型適合の確立は兄弟姉妹間で、4分の1、親子間ではまれにしか一致しません。非血縁者では数百〜数万分の1となります。

**加登脇** 会は登録していただいている方が50名で、関係者を入れると65名ほどになります。実働は20名くらいですかね。会費を頂いてまして、学生は千円、一般は3千円です。

**安陪** 鳥取県内のドナー登録の状況はどのようになっていますか。

**加登脇** 1270人位です。全国では30万人を目標にしています。登録には年齢制限があり、18〜54歳です。人口比率で言えば、鳥取県は登録が進んでいるほうではあります。比較的意识が高いのではないかと思つています。

**安陪** 私は何かの役に立てれば良いと思つて登録しました。必要とされる方はどれ位いらつしやいますか。

**加登脇** 1年間に発病発症される方は、白血病が約5千人、その他の血液難病が約6千人といわれています。その中で、6割の方は薬で治りますが、骨髄移植や臍帯血移植が必要な方が4割おられます。これらは簡単に説明すると新しい血液が作れなくなつてしまう病気で、新しい正常なものを移植する必要がありますが、血液のHLA型がマッチしなければなりません。しかし数百から数万のバターンがあります。適合する確率は、兄弟で4分の1、非血縁者で1万人に一人しかいません。もつと多く、広く救える方を増やしたいのです。まずは2CCの採血から登録できます。それからHLA型が一致した場合だけ実際の移植に向けたコーデイナートに進んでいきます。実は日本は外国に比べると遅れているのが現状です。しかし基本的に一民族なので一致しやすいです。国際提携も進んでいて、例えば台湾や韓国で一致する場合もありますし、もう一つともあります。

病に侵された骨髄幹細胞を健康な骨髄幹細胞と入れ替えることにより、正常な造血機能を回復することが出来ます。これが「骨髄移植」です。実際には、ドナー（骨髄提供者）から採取した骨髄液を、通常の輸血と同じように患者さんに点滴で静脈から注入します。骨髄移植とは脊髄、骨の移植ではなく、骨髄幹細胞の移植です。

骨髄移植を必要とする病気・・・

- ・白血球
- 骨髄幹細胞の異常でガン化した血液細胞が増え、正常な血液が作れなくなる病気。
- ・再生不良性貧血
- 骨髄幹細胞の機能が低下し、血液成分がうまく造れなくなり、出血、感染、貧血などの問題となる病気。
- ・先天性免疫不全症
- 身体を守る免疫機能が生まれつき低下しているため、感染症にかかりやすくなる病気。

**安陪** 地域性がありますよね。移植自体はどれ位行われていますか。

**加登脇** 年間700〜800件です。通算で8千例あります。1992年から始まつて15年経ちました。

**安陪** 年々登録が増えていきますよね。適合の割合も増えてきていますか。

**加登脇** 30万人の登録で9割一致するといわれています。しかし出来るだけ患者さんのチャンスは増やしたいと思つています。登録があつても提供までいくとは限らないのです。型が一致してから実際に提供までいくのは53%です。原因は一致するまで時間がかかつて、連絡がつかなくなつてしまうケースが3割あります。登録されている人にもPRする必要があります。

**安陪** 私のところにも年2回案内が届きます。

### 【骨髄バンクについて】

骨髄バンクの目的と役割・・・  
骨髄移植を必要とする患者さんは、年間2千人と予想されています。少子化が進んでいる日本では、家族内に適合するドナーの見つかる患者さんは約2〜3割程度といわれています。したがつて、骨髄バンクでは広く国民の皆さんからドナー登録者を募り提供（移植）までを結びつけ、ひとりでも多くの患者さんを公平に救うことを目的としています。

骨髄バンクのしくみ・・・

骨髄移植は、ドナー登録者の募集にはじまり、登録（HLA型検査）や患者さんとのデータ検索、ドナーの方々への詳しい説明や健康診断、実際の骨髄採取と移植を行う医療機関との日程調整など、さまざまな分野、機関の協力によって行われます。骨髄バンク事業とは、関係機関がそれぞれの役割分担を果たしながら実施される事業の総称です。

骨髄バンク事業は、「国（厚生労働省）」の主導のもと「骨髄移植推進財団」、「日本赤十字社」、「都道府県」の協力により、行われている公的事業です。

**加登脇** 案内は送っていますが、再教育というか再度アプローチが必要ですよ。

**安陪** 私たちにもつと財団に協力できることはありますか。例えば募金とか。

**加登脇** ドナーサポーターとして募金などをお願いはしています。

**安陪** 登録は出来ないけど趣旨には賛同するという方もおられるはずですよ。

**加登脇** 街頭などで登録会を開いたりしています。今度鳥取大学でも献血と一緒にします。登録には年齢制限があるので、毎年50人くらい抹消しているのが現状です。登録は鳥取では血液センター、倉吉・米子は保健所にてできます。まずはもつと知つていただくことから取り組んでいこうと思つています。

**安陪** 私はほんの軽い気持ちで、世の中に役に立ちたいと思つて登録しました。人の命に関わることです。もつと多くの方に賛同してもらいたいですね。

**加登脇** しつかりとご理解をして登録をしていただければと思います。

**安陪** 私たちも積極的に協力させていただきたいと思つています。今日はありがとうございました。

#### 【お問合せ先】

財団法人 骨髄移植推進財団  
http://www.jmdp.or.jp  
フリーダイヤル 0120-4451-4451  
鳥取県骨髄バンクを支援する会  
事務局 0858-491-5175  
tomihiko@mse.biglobe.ne.jp



《安陪 理事長》



《加登脇 富彦 氏》